

矢部高校通信

文責：校長

学校安全指導者研修会(文部科学省主催)



文部科学省から「熊本県で開催なら矢部高校を入れてほしい」と注文があったそうです。本校が長年取り組む安全教育に二輪車競技部と連携した取り組みが評価されているようです。交通担当の村上先生がスライドを使って発表。二輪車競技部の実演を雨の中見学され、それぞれ高い評価をいただきました。

長距離走大会



日頃の授業からこの日のために意識を高め準備してきました。天候にも恵まれ一生懸命に走ってくれました。保護者の方々には大量の豚汁を準備していただき、体も心も温まる大会となりました。体が冷えないように着替えてから舌鼓！中には弁当と豚汁4杯とミカン5個を食べた生徒がいました。私も2杯いただきました。

「矢部高マーケット」 in 下通

高校単独で下通でマーケットを開催することはなかなかできませんが今年も実施しました。生徒が総合的な探究の時間で地元のお店と共同開発したコラボ商品を中心としたマーケットです。最初は恥ずかしく声が出ませんでしたが、その後は大きな声と笑顔一杯でした。学校の理解促進のための良い機会でした。



イオンモール熊本との包括連携協定



高校3校とイオンモール熊本と協定を結びました。どちらも上益城にあるということでの連携です。8月から動画も上映してもらっていますが、いろんな方からの反響もあり、情報発信力の大きさに驚いています。今後も学校の魅力発信のためにイオンモールと連携した取り組みを更に展開していきます。

修学旅行(東京方面)



今年は私が団長として引率しました。初日、横浜でこの研修旅行の安全を中国式のお寺で祈願しました。翌日は林業科学科の生徒と林野庁へ足を運び、OBの方々のご配慮で小坂長官とも面会できました。自主行動やディズニーランドでの一日研修、浅草寺周辺での散策など充実した内容でしたが、校長として一番うれしかったことは、誰一人ケガや事故もなく笑顔で楽しんできたことです。成長を感じた旅行となりました。

「くもとSDGs アワード」で大賞

応募して3年目、ステップアップしながら今年は「未来づくり部門大賞」をいただきました。地域課題を林業の視点から取り組んだ内容は高い評価をいただきました。授賞式後、木村知事から「一緒に写真撮りましょう！」と声をかけていただきました。高校生の活躍は様々な企業からも注目されています！



表彰式・終業式



2学期は行事の多かった学期ですが、表彰者のべ74人。うち代表として22人が登壇しました。校長講話では、今年の漢字「熊」について「心の持ち方で人生が変わる」という話をしました。「やらなければならないことを機嫌よくする！」ことの大切さを伝えました。矢部高校の生徒たちは順調に心が育っていると感じます。心の成長は人生を豊かにし、生きる力を付けてくれるはずです。今後が楽しみです。

「学びの祭典」

県立高校の取組を紹介するイベントです。今年も多くの中小学生が足を運んでくれました。日頃の学びをポスター発表で紹介するとともに、体験コーナーや販売コーナーなど、矢部高校の良さを実感していただく時間を作ることができました。矢部高校は本当に多彩な学びができる学校だと思います！

